

内部被ばくの治療を迅速に実施 (千葉県千葉市)

事業者：原子力規制庁

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化



対策名： No.59 原子力災害医療機関の施設に関する緊急対策

事業名： 原子力災害等医療実効性確保事業

ポイント ● 内部被ばく患者の治療が迅速かつ効果的に実施できる機能を確保

地域の概要・課題

原子力規制委員会が指定する高度被ばく医療支援センターは、地域の原子力災害拠点病院では対応できない内部被ばく患者等の受入れを行う医療施設です。

高度被ばく医療支援センターは、内部被ばく患者の治療等に必要な施設設備を有していますが、施設設備の老朽化や狭隘等により迅速かつ効果的な対応に課題がありました。

事業の概要

高度被ばく医療支援センターのうち、特に重篤な内部被ばく患者等の受け入れ拠点となる量子科学技術研究開発機構において、迅速かつ効果的な対応ができるよう、3か年緊急対策として整備事業を実施しました。

〔見込まれる効果〕

原子力災害時に内部被ばく患者が生じた場合には、患者の負担を軽減するため、適切な治療を迅速かつ効果的に行う必要があります。

本対策により、内部被ばく患者の対応が迅速かつ効果的に行うことができるようになるため、原子力災害医療体制の実効性を更に確保できる見込みです。

I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

I-3 避難行動に必要な情報等の確保